



地域包括ケアシステム構築に向けた取組事例（様式）

①市区町村名	高石市
②人口（※1）	59,047人 ()
③高齢化率（※1） <small>（65歳以上、75歳以上それぞれについて記載）</small>	65歳以上 14,170人（24.0%） () 75歳以上 6,610人（11.2%）
① 取組の概要	高齢者等SOSネットワーク事業連絡会における『見守り支援プラン事業』徘徊またはおそれのある高齢者や障がい者などを、地域の支援を得て早期に発見できるよう、市内の関係機関の連携・協力体制（高齢者等SOSネットワーク）を構築し、高齢者などの安全を図り、加えて家族などへの支援、徘徊予防、地域の見守り機能の向上を図ること
⑤取組の特徴	地域密着型サービス事業者が中心となり、障がい福祉分野も対象として、運営メンバーに警察署、商工会議所や民協などの関係機関も参画した連携強化型のシステムづくりに取組んでいる。
⑥開始年度	平成23年4月1日
⑦取組のこれまでの経緯	平成20年9月に高齢者等SOSネットワーク事業策定ワーキングチームを立ち上げを行い、本連絡会の設置準備や認知症サポーター養成講座の育成を行う。また、認知症ケアの推進を図るため、福祉事業者に対する啓発活動から始まり、市内企業への個別訪問啓発やサポーター養成の開催を行い、福祉分野との顔が見える関係づくりに取組む。
⑧主な利用者と人数	徘徊またはおそれのある高齢者 22名
⑨取組の実施主体及び関連する団体・組織	運営機関 地域密着型サービス事業者、障害者（児）支援相談事業者、地域包括支援センター 協力機関 介護保険事業者、行政、社協、警察、商工会議所、民協、校区福祉委員会など
⑩市区町村の関与（支援等）（※2）	
⑪国・都道府県の関与（支援等）（※3）	





⑫取組の課題	・ 捜索支援要請する際、FAX送信時間が現時点でも完了まで1時間以上の時間を要する。 ・ あくまでも、業務活動中における合間での捜索支援活動と位置付けているが、家族等の要請者からは、それ以上の支援活動の期待がなされる。 ・ 他市との連携強化
⑬今後の取組予定	・ 小中学校へのサポーター養成講座を実施しとともに、30～40世代への福祉関心度を高め、新たな地域福祉活動者への育成へとつなげていきたい。 ・ 徘徊模擬訓練の実施
⑭その他	
⑮担当部署及び連絡先	高石市地域包括支援センター（高石市社会福祉協議会） 連絡先：072-265-1313

※1 一部地域に限定した実施の場合は、当該地域の人口・高齢化率を（ ）内に記載してください。

※2 市町村から財政的支援が行われている場合には予算額等を含めて記載ください。

※3 国や都道府県から財政的支援を受けている場合は、補助金や交付金等の名称、額等を含めて記載ください。

